

概要

デジタルカメラのオートフォーカスやズーム機能を実行する撮影駆動部は、LSIの小型化とモータの省電力化のため、制御方式がリニア駆動からPWM駆動へと移行しています。これらの評価にDLM2000シリーズのリアルタイムデジタルフィルタ機能とパルスカウント機能がお役に立ちます。

DLM2000の有効性

- デジタルフィルタによるPWM波形の実行値波形の観測
内蔵のフィルタ機能を用いて、実行値波形(PWM復調波形)をリアルタイムに表示できます。PWM駆動信号とレンズの動作開始のタイミングを確認できます。外付けフィルタが不要となります。PWMの基本周波数の変更にも対応可能です。
 - ・リアルタイム・プリセットフィルタ: 8kHz~200MHzまで(14種類)
 - ・演算によるフィルタ処理: 0.01Hz~500MHz
- パルスカウント機能
パルスカウント機能により、指定範囲のパルス数を自動でカウントできます。フォーカス調整の評価において、移動距離と駆動パルス数の評価が容易になります。フィルタ処理後の演算波形でも、パルスカウント機能は使用可能です。

